

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く
都道府県別訪日外客数と訪問率
月次指標の早期推計：1月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 2月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 4)、**1月の訪日外客総数(推計値)は 378 万 1,200 人**となり、**過去最高値を更新した(前年同月比+40.6%)**。春節に伴う大型連休(1月28日から2月4日)やウィンタースポーツ需要の高まりもあり、**アジアや欧米豪を中心に訪日外客数が増加した**。一方、**出国日本人数は 91 万 2,300 人**と、7カ月ぶりに**100 万人の水準を割り込んだ(同+8.8%)**。なお、**2019 年同月比-37.2%となり、減少幅は前月(同-30.7%)から拡大**。アウトバウンドはインバウンドに比して依然低迷が続く。

▶ なお、足下 25 年 2 月の平均為替レートは 151.96 円、19 年同月は 110.36 円、37.7%の円安となっている。

▶ **訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると(図 2 及び表 4)、1月は中国が 98 万 300 人(前年同月比+135.6%)で最多**となった。次いで韓国が 96 万 7,100 人(同+12.8%)、台湾が 59 万 3,400 人(同+20.5%)、香港が 24 万 3,700 人(同+30.8%)、米国が 18 万 2,500 人(同+38.4%)と続く。なお、**今月は韓国、台湾や豪州が過去最高値を更新した**。

▶ **目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図 3 及び表 5)、11月は 318 万 7,175 人**であった(前年同月比+30.6%)。うち、**観光客は 292 万 2,383 人(同+32.4%)**。また、**商用客は 12 万 7,781 人(同+9.4%)**、**その他客は 13 万 7,011 人(同+17.0%)**であった。

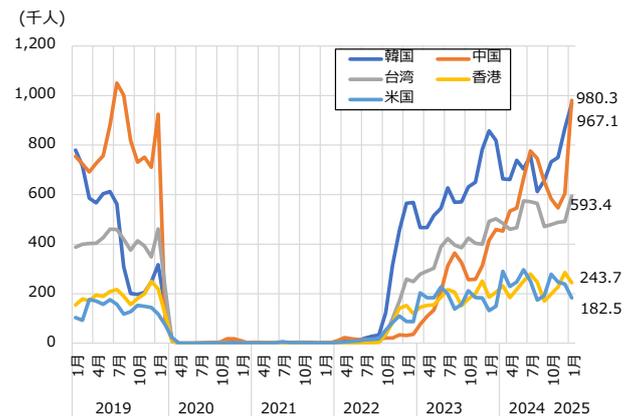
▶ **大阪・関西万博の開催が近づき、各自治体は国内外の誘客を図るため、観光キャンペーンを展開している**。関西自治体における具体的な事例をいくつか見てみよう。**和歌山県では、2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日にかけて「プラスワントリップ和歌山キャンペーン」を行う予定**である。具体的な内容としては、(1)デジタルパス「和歌山満喫わくわくパス2」の導入、(2)万博 1 日券と大阪、和歌山の宿泊をセットした旅行商品の造成や(3)インバウンド向け観光周遊券「Have Fun in 和歌山 Pass」が利用可能な施設の拡充である。また、**奈良県ではデジタル周遊パスの「大阪・奈良楽遊パス」を造成し、県内北部及び南部への誘客・周遊促進を図る予定**である。このような各自治体の取組は、万博来訪者の広域・周遊化を促進し、万博開催による経済効果が地域経済に一定程度波及することに繋がろう。

図 1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2022 年まで確定値。23 年、24 年 1-10 月は暫定値、24 年 11-12 月は推計値

図 2 上位 5 カ国・地域別訪日外客数の推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

図 3 目的別訪日外客数推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から 2 カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが 2023 年 9 月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

● 1月関西の財貨・サービス貿易及び12月のサービス産業動向

▶ **関西1月の輸出額は**前年同月比+3.5%と**4カ月連続で増加**した(前月:同+3.1%)。また、**輸入額は**同+19.1%と**2カ月連続で増加**し、増加幅は前月(同+3.1%)から大幅拡大。**春節時期のずれの影響もあり、関西の貿易収支は-2,834億円と12カ月ぶりの赤字となり(図4)、赤字幅は同+578.2%拡大した。**

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、**関西1月の対中輸出は**前年同月比-11.8%と**2カ月連続で減少**した(前月:同-6.7%)。輸出減に寄与したのは半導体等製造装置や半導体等電子部品などであった。一方、**対中輸入は**同+19.6%と**2カ月連続の増加**(前月:同+5.1%)。輸入増に寄与したのは衣類及び同付属品や通信機などであった。

▶ **1月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は**98万3,015人と過去最高を更新し、**100万人に迫る水準となった**(前月:88万5,400人)。前年同月比+40.4%と増加幅は前月(同+22.7%)から拡大。春節に伴う大型連休の影響もあり、外国人入国者数は加速した。一方、同月の日本人出国者数は16万7,198人であった。前年同月比+11.0%と増加幅は前月(同+29.1%)から縮小。なお、2019年同月比では-42.0%と、減少幅は2カ月連続で拡大(前月:同-33.6%)、アウトバウンド需要は低迷している。

▶ **12月のサービス業の活動は一進一退の動きが続く(図7)。**サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数(季節調整済み)**:2015年平均=100)をみれば、12月は101.9で前月比+0.1%小幅上昇し、**2カ月ぶりのプラスとなった**(前月:同-0.3%)。また、**対面型サービス業指数***は99.2で同+1.2%と**2カ月連続のプラス**(前月:同+0.2%)。うち、**娯楽業(同+4.2%、2カ月連続)や宿泊業(同+6.5%、2カ月ぶり)が上昇に寄与した。**結果、10-12月期の第3次産業活動指数は前期比-0.6%と3四半期ぶりのマイナス(7-9月期:同+0.5%)。一方、同期の対面型サービス業指数は同+0.8%と3四半期連続のプラスとなった(7-9月期:同+0.6%)。

▶ **観光関連指数****(2015年平均=100)は、95.3と前月比+1.0%上昇し、**3カ月連続のプラス**(前月:同+0.1%)。うち、**宿泊業や飲食店、飲食サービス業(同+1.4%、2カ月連続)等が上昇に寄与した。**結果、10-12月期の観光関連指数は前期比+0.6%と2四半期連続のプラスとなった(7-9月期:同+1.5%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

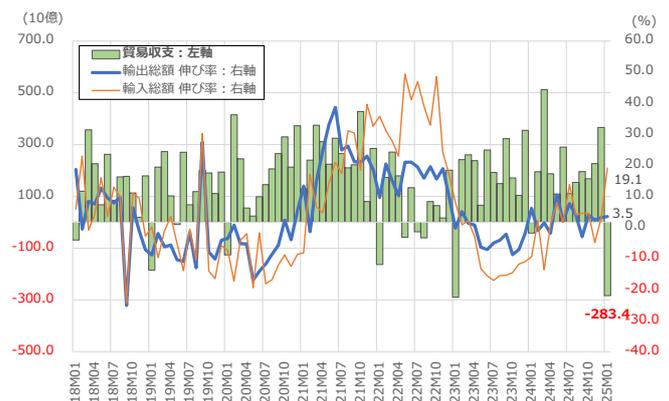
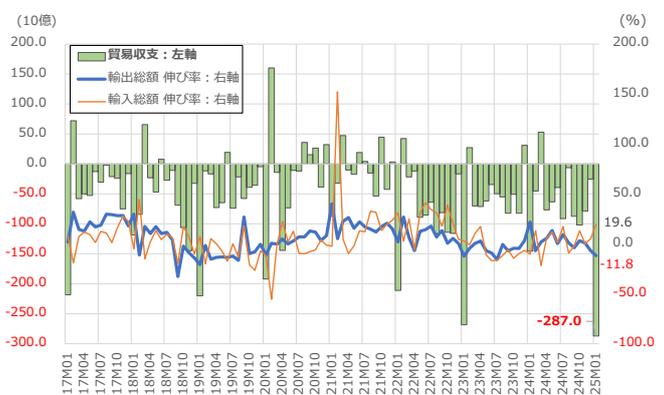


図5 関西 対中貿易の推移



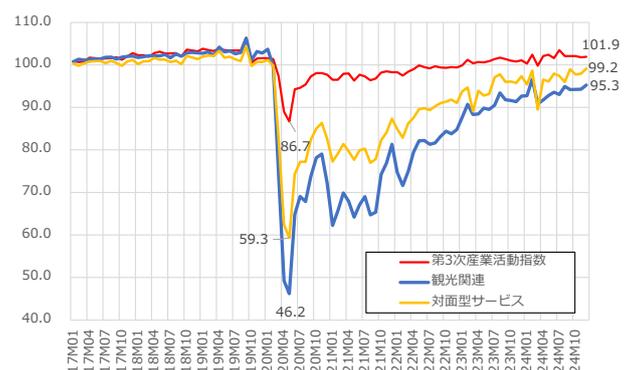
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2025年1月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 11月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、11月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は12,620.9千人泊であった(表1)。前年同月比+3.6%と2021年11月以降増加が続いているが、増加幅は前月(同+7.4%)から縮小した。

▶日本人延べ宿泊者数は8,330.4千人泊となった(表1及び図8)。前年同月比-0.9%と2カ月ぶりに減少した(前月：同+1.1%)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,754.8千人泊、京都府1,559.3千人泊、兵庫県1,392.9千人泊、三重県738.9千人泊、滋賀県416.0千人泊、和歌山県368.4千人泊、福井県333.4千人泊、鳥取県275.8千人泊、奈良県250.2千人泊、徳島県240.7千人泊であった。前年同月比で見ると、京都府(同-18.4%、18カ月連続)、大阪府(同-2.4%、2カ月ぶり)や滋賀県(同-2.1%、3カ月連続)が、日本人延べ宿泊者の減少に寄与した。

▶外国人延べ宿泊者数は4,290.5千人泊となった(表1及び図9)。前年同月比+13.5%と増加幅は前月(同+20.8%)から縮小したが、11カ月連続で2桁の伸びが続いており、好調を維持している。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,299.0千人泊、京都府1,576.3千人泊、兵庫県151.2千人泊、和歌山県104.2千人泊、奈良県42.7千人泊、滋賀県34.7千人泊、三重県26.4千人泊、徳島県22.6千人泊、鳥取県21.6千人泊、福井県11.9千人泊であった。なお、徳島県の延べ宿泊者数が過去最高値を更新した。前年同月比をみれば、大阪府(同+14.3%、34カ月連続)、京都府(同+9.3%、32カ月連続)や兵庫県(同+35.9%、28カ月連続)等、9府県が外国人延べ宿泊者の増加に寄与した。

▶宿泊料金を巡る状況(現金給与総額/宿泊料金)を見れば、2025年1月は70.7で、19年同月比-15.8ポイント低下した(前月：同-17.7%)。宿泊料金の高騰に対して賃金上昇が追いついておらず、日本人宿泊者数にとっては厳しい状況が続いている(図10)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

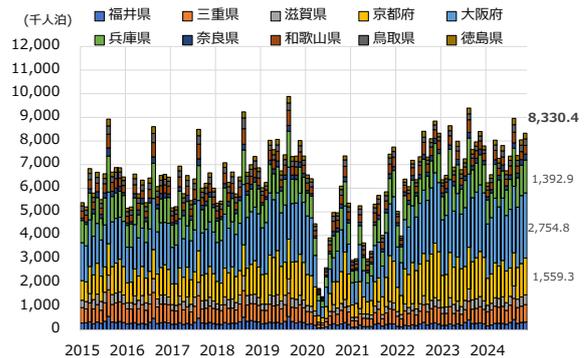


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

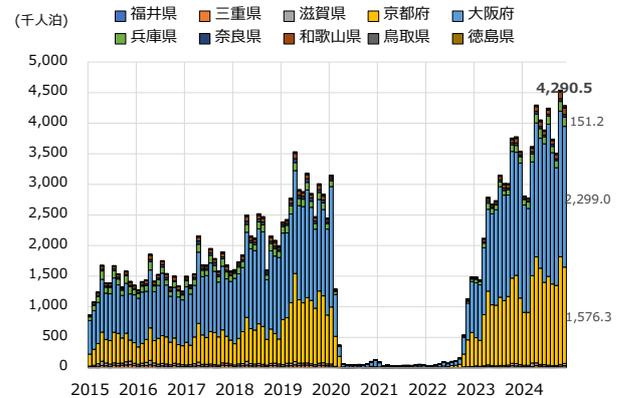
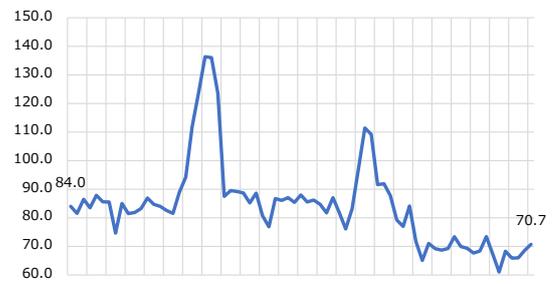


図10 宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金)



注) 宿泊料金(消費者物価)と賃金(現金給与総額)の相対的関係のみている。2019年平均を100。

出所) 総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計調査』

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：11月

2024年11月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	前年比伸び率: 当月(%)	前年比伸び率: 前月(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	前年比伸び率: 当月(%)	前年比伸び率: 前月(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	前年比伸び率: 当月(%)	前年比伸び率: 前月(%)
福井県	345.3	12.1	13.6	333.4	11.2	13.9	11.9	42.0	2.7
三重県	765.3	7.8	7.0	738.9	7.7	8.6	26.4	11.9	-26.8
滋賀県	450.7	-2.9	-6.7	416.0	-2.1	-4.4	34.7	-11.9	-31.5
京都府	3,135.6	-6.5	1.5	1,559.3	-18.4	-18.5	1,576.3	9.3	26.5
大阪府	5,053.8	4.5	8.5	2,754.8	-2.4	3.6	2,299.0	14.3	15.0
兵庫県	1,544.1	11.4	8.9	1,392.9	9.3	5.4	151.2	35.9	49.4
奈良県	292.9	6.5	12.1	250.2	6.7	10.7	42.7	5.5	20.2
和歌山県	472.6	11.1	18.8	368.4	4.9	4.5	104.2	40.7	107.8
鳥取県	297.4	38.3	44.6	275.8	34.5	43.9	21.6	117.2	62.1
徳島県	263.3	25.3	23.4	240.7	25.5	24.6	22.6	22.8	11.6
関西2府4県	10,949.6	2.0	6.2	6,741.6	-4.0	-2.0	4,208.1	13.1	21.2
関西2府8県	12,620.9	3.6	7.4	8,330.4	-0.9	1.1	4,290.5	13.5	20.8
全国	57,117.7	4.9	4.1	42,326.5	-0.3	-2.3	14,791.3	22.9	26.6

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している。

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8~10及び表1)より筆者作成

トピックス 3

● 2024年10-12月期国内旅行消費の動向：関西2府8県*

▶観光庁によれば、2024年10-12月期関西(2府8県ベース)の国内旅行消費額(速報)は1兆2,189億円となった(表2)。前年同期比+6.5%と4四半期連続のプラスだが、増加幅は2四半期連続で縮小した(4-6月期：同+23.9%、7-9月期：同+11.1%)。結果、24年通年では4兆7,245億円となった(23年：4兆1,150億円)。前年比+14.8%と3年連続のプラスだが、増加幅は23年(同+17.4%)から幾分縮小。なお、全国の24年通年は25兆1,175億円となり(前年比+14.6%)、2025年の政府目標である22兆円を上回った。

▶国内旅行消費額のうち、10-12月期の宿泊旅行消費額は9,612億円であった。前年同期比+4.0%と4四半期連続のプラスだが、7-9月期(同+9.4%)から増加幅は縮小した(図11及び表2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府2,859億円(同-5.2%)、京都府1,955億円(同-2.5%)、兵庫県1,223億円(同-24.5%)、三重県1,065億円(同+123.7%)、奈良県688億円(同+63.6%)、和歌山県561億円(同-19.4%)、滋賀県397億円(同+142.9%)、福井県378億円(同-20.8%)、鳥取県307億円(同+28.3%)、徳島県180億円(同+38.8%)であった。

▶国内旅行消費額のうち、10-12月期の日帰り旅行消費額は2,576億円であった。前年同期比+16.7%と5四半期連続のプラスだが、7-9月期(同+17.9%)から増加幅は縮小(図12及び表2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府840億円(同+40.9%)、京都府621億円(同+103.7%)、兵庫県364億円(同-23.5%)、三重県279億円(同-9.7%)、滋賀県121億円(同-37.8%)、福井県98億円(同+9.5%)、奈良県91億円(同-10.7%)、和歌山県64億円(同+40.4%)、徳島県57億円(同+15.9%)、鳥取県42億円(同+2.7%)であった。

*トピックス3は四半期ごとの掲載である。

図11 関西2府8県 宿泊旅行消費額の推移

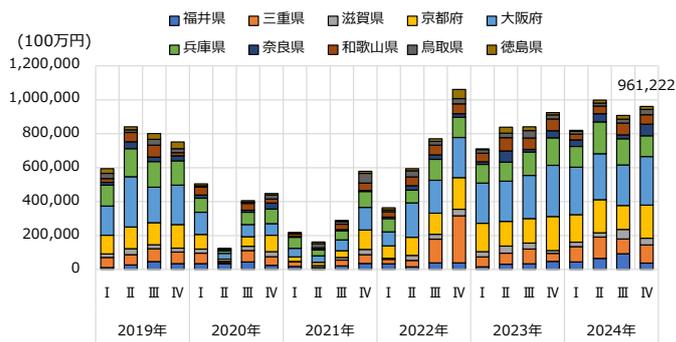
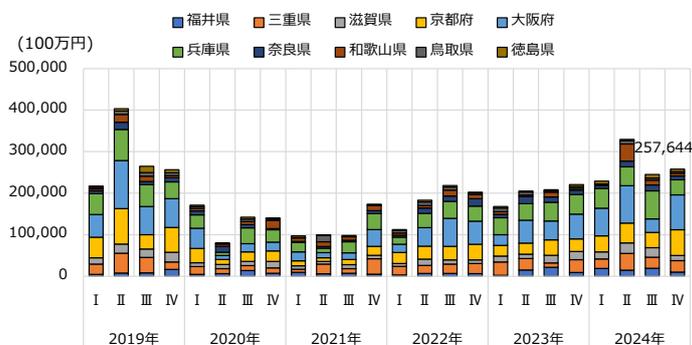


図12 関西2府8県 日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む。

2023年までは確報。24年10-12月期は速報

(上図も同様)。

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表2 関西 国内旅行消費額：2024年10-12月期

	国内旅行消費額			宿泊旅行消費額			日帰り旅行消費額		
	金額： 100万円	前年比伸び率： 10-12月期(%)	前年比伸び率： 7-9月期(%)	金額： 100万円	前年比伸び率： 10-12月期(%)	前年比伸び率： 7-9月期(%)	金額： 100万円	前年比伸び率： 10-12月期(%)	前年比伸び率： 7-9月期(%)
福井県	47,543	102.8	102.8	37,784	-20.8	175.3	9,759	9.5	-11.6
三重県	134,385	71.3	19.5	106,509	123.7	2.7	27,877	-9.7	152.3
滋賀県	51,868	44.6	47.1	39,724	142.9	58.8	12,144	-37.8	23.6
京都府	257,554	11.5	-0.8	195,488	-2.5	-0.1	62,066	103.7	-3.6
大阪府	369,892	2.4	-6.6	285,894	-5.2	-4.9	83,999	40.9	-16.0
兵庫県	158,636	-24.2	17.5	122,274	-24.5	10.5	36,362	-23.5	38.7
奈良県	77,895	49.1	28.8	68,768	63.6	41.3	9,127	-10.7	13.5
和歌山県	62,499	-15.8	9.7	56,083	-19.4	11.7	6,416	40.4	-2.1
鳥取県	34,874	24.6	-35.3	30,682	28.3	-45.0	4,191	2.7	99.8
徳島県	23,720	32.5	25.2	18,017	38.8	3.6	5,703	15.9	204.4
関西2府8県	1,218,866	6.5	11.1	961,222	4.0	9.4	257,644	16.7	17.9

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表4 2025年1月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)
	1月	1月		1月	1月	
総数	2,688,478	3,781,200	40.6	2,688,478	3,781,200	40.6
総数(中国除く)	2,272,390	2,800,900	23.3	2,272,390	2,800,900	23.3
韓国	857,039	967,100	12.8	857,039	967,100	12.8
中国	416,088	980,300	135.6	416,088	980,300	135.6
台湾	492,288	593,400	20.5	492,288	593,400	20.5
香港	186,300	243,700	30.8	186,300	243,700	30.8
タイ	90,585	96,800	6.9	90,585	96,800	6.9
シンガポール	34,140	45,700	33.9	34,140	45,700	33.9
マレーシア	32,079	75,000	133.8	32,079	75,000	133.8
インドネシア	41,287	63,200	53.1	41,287	63,200	53.1
フィリピン	56,776	72,200	27.2	56,776	72,200	27.2
ベトナム	44,602	50,400	13.0	44,602	50,400	13.0
インド	12,608	16,200	28.5	12,608	16,200	28.5
豪州	103,604	140,200	35.3	103,604	140,200	35.3
米国	131,855	182,500	38.4	131,855	182,500	38.4
カナダ	31,672	42,300	33.6	31,672	42,300	33.6
メキシコ	6,805	9,300	36.7	6,805	9,300	36.7
英国	19,809	26,400	33.3	19,809	26,400	33.3
フランス	14,444	16,500	14.2	14,444	16,500	14.2
ドイツ	10,402	12,700	22.1	10,402	12,700	22.1
イタリア	6,879	8,800	27.9	6,879	8,800	27.9
スペイン	4,769	7,400	55.2	4,769	7,400	55.2
ロシア	3,242	4,900	51.1	3,242	4,900	51.1
北欧地域	7,439	9,200	23.7	7,439	9,200	23.7
中東地域	5,886	11,900	102.2	5,886	11,900	102.2
その他	77,880	105,100	35.0	77,880	105,100	35.0

表5 2024年11月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)
	10月	10月		10月	10月		10月	10月		10月		
総数	2,516,623	3,312,193	31.6	2,245,892	3,021,710	34.5	119,327	121,490	1.8	151,404	168,993	11.6
韓国	631,124	732,167	16.0	600,998	701,198	16.7	18,011	17,868	-0.8	12,115	13,101	8.1
中国	256,371	582,919	127.4	188,541	506,881	168.8	23,055	25,557	10.9	44,775	50,481	12.7
台湾	424,857	478,902	12.7	410,414	463,617	13.0	8,852	8,926	0.8	5,591	6,359	13.7
香港	179,316	198,827	10.9	175,511	194,958	11.1	2,198	2,224	1.2	1,607	1,645	2.4
タイ	124,558	132,188	6.1	119,502	126,914	6.2	2,794	2,988	6.9	2,262	2,286	1.1
シンガポール	55,116	68,790	24.8	52,322	65,910	26.0	2,452	2,457	0.2	342	423	23.7
マレーシア	45,162	55,091	22.0	42,568	52,583	23.5	1,791	1,699	-5.1	803	809	0.7
インドネシア	40,260	43,215	7.3	30,134	32,475	7.8	2,204	1,871	-15.1	7,922	8,869	12.0
フィリピン	69,225	80,244	15.9	58,889	67,858	15.2	5,167	7,392	43.1	5,169	4,994	-3.4
ベトナム	50,456	50,982	1.0	16,181	16,079	-0.6	3,880	3,831	-1.3	30,395	31,072	2.2
インド	16,810	21,706	29.1	9,416	14,445	53.4	4,724	4,723	0.0	2,670	2,538	-4.9
豪州	62,015	90,157	45.4	58,514	86,933	48.6	2,652	2,230	-15.9	849	994	17.1
米国	211,867	278,461	31.4	193,998	261,069	34.6	13,704	12,905	-5.8	4,165	4,487	7.7
カナダ	51,741	66,524	28.6	49,554	64,468	30.1	1,471	1,225	-16.7	716	831	16.1
メキシコ	12,483	19,199	53.8	11,890	18,567	56.2	399	369	-7.5	194	263	35.6
英国	37,431	51,637	38.0	32,914	47,139	43.2	3,301	3,120	-5.5	1,216	1,378	13.3
フランス	34,356	49,389	43.8	30,479	45,413	49.0	2,557	2,453	-4.1	1,320	1,523	15.4
ドイツ	30,893	43,351	40.3	26,647	39,181	47.0	3,410	3,183	-6.7	836	987	18.1
イタリア	16,315	25,063	53.6	14,100	22,800	61.7	1,571	1,592	1.3	644	671	4.2
ロシア	5,726	15,701	174.2	4,503	14,469	221.3	705	698	-1.0	518	534	3.1
スペイン	15,515	23,391	50.8	14,487	22,290	53.9	706	714	1.1	322	387	20.2
中東地域	10,234	20,859	103.8	8,955	19,373	116.3	812	977	20.3	467	509	9.0
その他	134,792	183,430	36.1	95,375	137,090	43.7	12,911	12,488	-3.3	26,506	33,852	27.7

注) 目的別訪日外客数の定義については、図3注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2025年2月19日付より筆者加工